神戸製鋼 抗菌めっき技術のサブライセンス権 初供与、高秋化学に

神戸製鋼所は28日、独自の高機能抗菌めっき技術「KENIFINE（ケニファイン）」のライセンスを第3者に与えることができる「サブライセンス権」をめっき専業の高秋化学（本社・新潟県燕市、社長・高橋靖之氏）に初めて供与すると発表した。同技術の導入を求める企業が増えているため、ライセンスの供与元を増やすことでニーズに円滑に対応する。

ケニファインは神鋼が2001年に独自開発した高機能ニッケル系合金めっき技術。滅菌速度が速く、カビも抑制できる高い抗菌作用が特徴だ。

神鋼は同年から同技術のライセンスを表面処理会社に供与する形でビジネスを展開。高秋化学は02年にいち早くライセンスを取得し、柔道畳用抗菌粉末や水耕栽培用資材を開発するなど同技術の豊富な知見や活用実績がある。

抗菌意識の高まりから、同技術のライセンス供与を求める企業は増えているという。供与先は現在14社。供給元2社体制でニーズに応え、同技術のさらなる普及拡大を目指す。

リバーHDがウェブサイト更新
デザインとコンテンツを刷新

総合リサイクル業、リバーホールディングス（社長・松岡直人氏）は28日、ウェブサイト＝写真＝をリニューアルしたとともに、情報発信サイト「エクーオンライン」を開設したと発表した。

今回のリニューアルでは〝ユーザーが見たい情報にストレスなくたどり着く〟を目指し、デザインとコンテンツを刷新した。

環境（エコ）と反響（エコー）の造語であるエクーには、反響を巻き起こすエコロジースタイルの追求という思いが込められる。エクーオンラインには「そうだったの？リサイクル」や「じゅんかんオピニオン」などさまざまなコンテンツを掲載。同業者の登場も積極的に依頼する予定。

米ニューコアの厚板新工場 ケンタッキー州に決定

米国電炉最大手のニューコアは27日、米中西部で検討していた厚板新工場の建設地をケンタッキー州に決定したと発表した。

ニューコアは1月に投資額が13億5千万ドルに上る厚板工場の新設構想を発表し、4州を候補としていた。ケンタッキー州での建設地はルイビル南西のブランデンバーグで、オハイオ川に面しており、ジョン・フェリオラCEOは声明で「米国で最も厚板需要が多い最高の場所」としている。

ニューコアは2014年に熱延コイルを造るケンタッキー州の電炉メーカー、ガラチン・スチールを買収しており、厚板新工場は同州で2カ所目の生産拠点となる。ガラチンはルイビル北東のゲントにあり、原料などの輸送に適したオハイオ川に近い。ニューコアはガラチンでも6億5千万ドルを投じる増強計画を進めており、ケンタッキーで相次ぎ大型投資を行う形になる。

ケンタッキーの厚板工場は年産能力120万トンで、2022年の稼働を予定。ニューコアにとり米

厚板生産拠

常陽銀行・足利銀行と連携 ビジネスマッチングサービス開始
板金加工の瞬時見積もりサービスのキャディ

3DCADデータから板金加工の見積もりを瞬時に行うサービスを手掛けるキャディ（本社・東京都墨田区、社長・加藤勇志郎氏）は28日、めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（本店・茨城県水戸市）と足利銀行（本店・栃木県宇都宮市）と連携し、両行の顧客を対象とした製造業の受発注でのビジネスマッチングサービスを始めると発表した。

金属加工を行う両行の顧客に対して製造業の受発注プラットフォーム「CAD

介する商談

るほか、パ

携候補先へ

を実施。顧

する領域な

ングし、約

客基盤をお

Di」によ

の発注案件

りなく黒字

的に受注で

ナー提携を

「CAD

自開発の原

ゴリズムを

CADデー

加工の見積

秒で算出で

率な相見積

アルインコ
クサビ緊結式足場の『アルバトロス』
PR動画を共同製作 仮設レンタル大手・杉孝と

アルインコ（大阪・東京両本社制、社長・小山勝弘氏）はこのほど、仮設レンタル大手の杉孝（本社・神奈川県、社長・杉山信夫氏）と共同でクサビ緊結式足場『アルバトロス』（NETIS＜新技術情報提供システム＞登録済、仮設工業会認定合格品）のPR動画を製作した。PR動画の再生時間は5分17秒。

アルバトロスは同社建設機材事業部の主力戦略製品。「アルバトロスのキャッチコピーは『進化する足場、アルバトロス』。一般ユーザーや現場作業員の方にその優れた特長を広く知っていただくために今回、PR動画を製作した」（アルインコ）。手摺先行工法の重要さをアピールし、さらなる安全性の向上を図る。

アルバトロスの製品、システム開発は仮設レンタル大手の杉孝と共同で行い、2010年に製品化した。

動画で『アルバトロス』の安全性などPR

建設現場の安全・安心を実現する アルバトロス

動画ではアルバトロスの施工性、耐久性、安全性の良さなどについてまとめてある。「強度は業界屈指。4スパン梁枠を使用した開口や朝顔、荷受けフォームの設置が可能で、あらゆる現場をサポート」「フランジ厚は6ミリではなく8ミリを採用し、さらに全周溶接しているため頑丈」「安全・安心そして信頼性を追求した手摺先行足場」などの説明がある。

「先行手摺が標準装備の次世代足場は、墜落災害から職人の命を守る。アルバトロスは3万超の現場で採用された実績がある。施工性の良さから、職人の作業負担も軽減できる。PR動画でアルバトロスの良さを訴えたい」（同社）としている。

東京鉄鋼の「中長期経営方針」 「株主との対話」狙いに作成
説明会などIR強化も検討

電炉小棒メーカー、東京鉄鋼（社長・吉原毎文氏）は今月20日に公表した「中長期経営方針」について「『株主との対話』を主な目的として作成した。鋼材販売量などの数量目標が設定されている社内向けの中長期経営計画を株主向けに分かりやすく翻訳したものだ」（柴田隆夫取締役常務執行役員）と、その位置付けを説明した。

「株主との対話」は東証が定めるコーポレートガバナンス・コードの基本原則の一つ。同社が中長期的に目指す成長戦略のイメージを平易に示すことで「投資家の皆様に電炉メーカーである当社の事業構造をよく知ってもらいたい」（同）とした。来年度からは経営方針や決算に関する説明会の開催など、IR（株主・投資家向け広報）活動の強化を検討していく考えも示した。

今回の「中長期経営方針」は昨年10月から作成を始め、年度末の3月20日に公表した。公表時期に関しては4月入ると決算発表が始まることから「アナリストや機関投資家が決算分析に忙殺されていない3月が良いと判断した」とした。中長期経営方針では売上高800億円以上、経常利益50億円以

8・0%を

が、目標の

していない

役は「まだ

新規ビジネ

会計書類電子化システムを受注
JFEシステムズ

JFEシステムズ（社長・西崎宏氏）は28日、電子帳簿保存法に対応した

電子化が可

保存システ

デリバリー

サービスの

ールディン

されたと発

インドネシアの賃貸住宅事業 現地に新会社
豊田通商

豊田通商（社長・貸谷伊知郎氏）は28日、インドネシアで展開している単身者・出張者向けの賃貸アパート運営事業（サービスアパートメント）が好調で事業が拡大しているため、新たな賃貸住宅の建設工事に着手するとともに、現地に新会社「PTトヨタツウショウ・リアルエステート・チカラン」を設立したと発表した。

豊通では、2014年に単身者・出張者向けサービスアパートメント「AXIA」の第一期プロジェクトを実施。16年には第二期プロジェクトを開発し運営している。

この間に、ジャカルタに在留する邦人数が増加し、インドネシアでの高品質住宅供給に対するニーズも拡大している。こうしたことから、第3期プロジェクト（ファミリー向けサービスアパートメント）を立ち上げるとともに、開発・運営のための新会社を設立した。

資本金は9100億ルピア（約71億4200万円）、99・9％を豊田通商が出資し、トヨタツウショウ・インドネシアが1％出資する。社長には浅黄栄一氏が就任する予定。

レジ

▽…「

ス認証

指した

は、仁

英司社

「レジ

パン推

発行す

然災害

る事業

CP）

事業継

力の向

に努め

企業・

体を認

する。

社が取

っかけ

は、「

るお客

増えた

の安全

携など

散歩道